

日本保育者養成教育学会

第6回研究大会「シンポジウム」のご案内 【WEB開催】

～保育現場と行政、保育者養成校の連携による 保育者養成の可能性～

◇企画趣旨

厚生労働省は昨年5月に、保育所の利用児童数は2025年にピークを迎えるとの見込みを発表した。今後、保育所はいかにより良い保育を行い、それを子育て家庭にアピールできるかということが課題となっていくことが予想される。

このような状況を受け、厚生労働省は昨年5月から、「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」を開催し、今後の保育所運営及び保育士に関する議論を行い、保育所が今後地域社会において果たすべき役割や、多機能化などの課題に加えて、保育士の資質向上の重要性についても触れている。また、早期退職などの問題も指摘されていることから、保育人材の確保と生涯働ける魅力ある職場づくりとともに、保育士等キャリアアップ研修などの取り組みを通して、保育所保育士が子どもの育ちに関する高度な専門知識を備えた専門職として活躍できるような取り組みが社会的に必要となっている。

本シンポジウムでは、こうした観点から保育者養成における連携について検討するために、行政と保育所が連携して実習生への指導の方法等について研修について取り組みをおこなっている東京都世田谷区での実践を紹介いただくことで、その具体的な中身や課題についてご紹介いただくとともに、保育者養成校がどのようにそこで役割を果たしていくかを議論していきたい。

◇開催日時

2022(令和4)年 3月6日(日) 10:30～

◇大会参加費

会員5000円 非会員5500円

企画：

請川滋大（第6回研究大会大会長・日本女子大学）

シンポジスト：

池田 斗起子（世田谷区保育課保育育成支援担当）

宮下 佐知子（世田谷区立南八幡山保育園園長）

西 智子（元・日本女子大学）

コーディネーター：

和田上 貴昭（日本女子大学）

司会：

浅野由子（日本女子大学）

◇お申し込み◇



<http://www.h-yousei-edu.jp/taikai/>

2月28日(月) 正午 までに
上のQRコード、URLより
お申し込み下さい。